

あけびだより

No. 238

2024年8月1日発行

URL <http://www.akebi.or.jp/>



絵画教室

殿納七恵氏

～絆を大切に強い団結力は唯一無二～

あけびは20周年という節目を迎えました。コロナ禍で委縮していましたが、昨年秋に、久しぶりに20周年記念講演会を開催することが出来ました。20周年の取り組みは職員が大きく団結する力を養い学ぶ機会を得ることが出来たように感じます。5月には、日本メドトロニック(株)主催のパーキンソン病市民公開講座、9月には富山の地球の子、中川様による勉強会を計画しています。

パーキンソン病を知ることは、長い療養生活を支えていくうえで重要なことだと思います。

今年は介護保険改正の年。基本報酬が下がる事業所もあり、小規模の事業所にとっては至難の業ですが時代の流れに沿いながら「あけび」を存続していかなければなりません。

今期の大きな取り組みとして、あけびの里の増床を考えています。

入居希望が多く、また重度な方が増えてきた事にも対応できるように、5床程にはなりますが入居の受け入れ人数を増やしたいと考えています。新しい施設の2階には訪問看護の事務所を設けて、医療依存度の高い利用者様にも対応できるように準備したいと思っています。

里、訪問介護、訪問看護の開所から8年。終の棲家としての役割を目指してきましたが、現実自分たちが思うほど満足な看取りが出来ず悔いが残る場面もありました。

医療・介護連携して、本当の意味での終の棲家となるように努力していきたいと思っています。

初めて里で看取りをさせて頂いた時の想いです。

「自分をよく知ってくれている人と過ごし、人の声で安心感に満ち、生活音がBGMのように心地よく聞こえてくる環境。その方の希望や願いを現実にし、出来る限り個人の意思を尊重した時間が過ごせるような場所にしたい」

改めて、病ではなく人を診ることを第一に考え、最期まで人のぬくもりを感じながら、自分らしく尊厳ある日常生活を送れる事を目標に寄り添っていきます。

新施設は、里の東隣に位置し、新築で計画中です。小さいながらも夢や希望の詰まった、そしてこれからのあけびを牽引していく存在。また、利用者様、ご家族、ケアマネージャー、医師、その他関わってくださる人々を繋ぐ絆のような存在を志します。2025年春には皆様へお披露目出来ると思います。楽しみにお待ちください。

今年度のあけびの方針「1人1人に寄り添ってあけびを維持可能なものに」

これを可能にするために、強い団結力・強い絆を持った集団を目指し、各管理者を中心として、目標設定、コミュニケーション、サポート体制、想い、熱意の伝達に尽力し、より一層、利用者様に満足して頂ける支援が出来る様に努めます。

(S/M)

認定・特定非営利活動法人あけび

認定・NPO法人あけび 事務所

TEL 079-262-6702 FAX 079-262-6703

グループリビングあけびの里

TEL 079-262-6707 FAX 079-262-6703

〒672-8064 姫路市飾磨区細江473-10

Mail: day@akebi.or.jp

通所介護施設デイサービスあけびの実

〒670-0804 姫路市保城363番地の3

TEL079-280-6931 FAX079-280-6932

Mail: akebi-no-mi@akebi.or.jp

通所介護施設デイサービスあけびの輪

〒670-0952 姫路市南条1丁目101-1

TEL079-284-0055 FAX079-284-0056

Mail: akebi-no-wa@akebi.or.jp

訪問看護ステーションあけび

〒672-8064飾磨区阿成植木836番地A号

TEL 079-262-6708 FAX 079-240-6765

Mail: houkan@akebi.or.jp

訪問介護ステーションあけび

〒672-8064 姫路市飾磨区細江473-10

TEL 079-262-6702 FAX 079-262-6703

Mail: akebi-herupa@akebi.or.jp

あけびの実

♪緑のカーテン

今年もボランティアさんが植えて下さったゴーヤが立派に育ちました。綺麗な緑を眺めながらのティータイムは最高♪お部屋も一気に涼しくなりました。



福永一乃氏

花いけ

中島久美子氏

久美子



♪7月誕生会

今月は「かすみ草」さんによる大正琴の演奏&歌です。懐かしい曲が流れると、大きな歌声が響き渡り大合唱。音楽に合わせてダンスを踊る方もおられ大盛り上がりでした。市川様より「今日は、今までで一、二番に嬉しい誕生日となりました。あけびに来ていつも元気を貰っていますが、今日は特に元気を貰えました！」と嬉しいお言葉を頂きました。

♪外出

朝の会で甘くて美味しいものが食べたい！の声がでたのでそれではと全員でスイーツを食べに出掛けました。やっぱり甘い物を食べると元気も倍増しますね。



♪書道教室

新しい仲間も増え、志水先生ご指導の下、毎月意欲的に取り組まれています。



♪レク、リハビリ

朝の会でそれぞれの希望をお聞きして午後からはカルタ、オセロなどお好きなことに取り組まれています。

市川伸一氏

の文化 光化

水室美榮子氏

の文化 光化

大空

松原良一氏



★夢前町の蓮畑へお出かけされました。酷暑の中、美しい蓮の花の前で「ハイ！ポーズ！！」



★今月のちぎり絵は、向日葵畑と少年を題材にした夏らしい作品です。今月の俳句に選ばれたのは、森本眞知子さまの『雲湧きて 子ら 走り出し 夕立ちぬ』です。落選作品も力作揃いです。

★女性2人組のアラカルトさんのバイオリン&ピアノ演奏会がありました？利用者さん、スタッフからのリクエスト曲を中心に10曲、アンコール曲3曲・・・懐かしい曲もあり、皆さん暑さを忘れる優雅な時間を過ごされました。



★ひと月に2回、絵の先生に来ていただいて絵画教室を開催しています。お花や野菜など、お好みの画材で描かれています。



★たくさんさんの紫蘇を頂きました。皆さんに作業療法の名目で、紫蘇ちぎりをして頂き紫蘇ジュースを作りました。紫蘇ジュースには、疲労回復効果があり、スッキリしたのど越しは暑い夏にピッタリですね！



★七夕の笹飾り、皆さん短冊に願いを込めて書かれました。今年の七夕は久しぶりに天気が良く、彦星と織姫は一年に一度の逢瀬が叶ったことでしょうか。



★お買い物はお楽しみのレクの一つです。ご自分で外出は難しい方も、久しぶりにお買い物にお出になると楽しくて仕方ないようです。やはり、ご自分の目で見て選ぶことは大切です！

★ご家族からの手紙

イタリアから孫が来ていて楽しく過ごせています。イタリア語 ⇔ 日本語の会話ですが、なぜか通じていて笑いあっています。



★毎日、リハビリ体操がんばっています！

★ボランティアさんが温熱療法を提供してくださっています。麦岩石という岩盤をペレット状に加工し、熱を加えて体をじんわりと温めマッサージしてくださいます。

訪問看護ステーションあけび

訪問介護ステーションあけび

かき氷を食べて酷暑を乗り切ろう

暑い日が続きます。月曜日、里の入居者全員が揃いました。昼食後、ミルク金時、抹茶金時、パイン味と、好みのものを注文し、久しぶりのかき氷を堪能されました。



お知らせ

パーキンソン病友の会 姫路ブロック

*8月患者・家族交流会 お休みです。

*9月患者・家族交流会

デイサービス地球の子（富山）の中川様による

お薬の勉強会をします。

【日時】 2024年9月15日（日）

1部 薬の話 10：00～12：00

2部 生活の話 13：00～15：00

【場所】 デイサービスあけびの実

【会費】 1家族500円

昼食を申し込まれる方は実費をいただきます。

【持ち物】 お薬手帳

【申し込み・問い合わせ】 TEL 079-280-6931

FAX 079-280-6932

患者、家族、友の会の方、職員等勉強したいと思われる方 是非お申し込みください。

（1部・2部・両方・駐車場・弁当の申し込みもお願いします。）



「卓球クラブ」



8月・9月は体育館行事の為休みです

連絡先（280-6931）



♪医療相談会

水田先生よりリハビリの重要性についてのお話がありました。

《下半身の筋トシをしっかり行いましょう》
①スクワットを正しく行う②階段を利用して手すりを持ち横歩きで上がっていく③腹ばいになってお腹をしっかりと床につける（膝、股関節を伸ばす）④マッサージなどで体をほぐしたあとは筋トシ、歩行練習を行いましょ（皆さんされていますか？）

※姿勢が良くなれば歩けるようになる（個人の相談会の前に全体の、そして職員の勉強会のための懇談会も行ってもらっています。）

在宅介護を体験して

在宅介護を介護者として体験しました。特に終末期における在宅介護の難しさを味わいました。最後まで自宅で、何もしない。と決めてはいたのですが、刻々と変わる病変にどう対応すればいいのか何を選択すればいいのかという決断をせまられ、最期の一週間ほどに慌てふためいてしまいました。

そんな時、家の中に医療（訪問看護・訪問診療）が入ってくることの安心感はどれほどのものか、本人の病態を把握していただくのはもちろんですが、介護者の精神的な支えになることの大きさを知り、訪問看護や訪問診療の果たす役割を、改めて思い知りました。

20周年記念講演会の時に在宅の先生が、「在宅を支えるのは訪問看護師の役割が大きい」と言われていたのですが、まさにそれを体験したのです。

「人生会議」は本人だけでなく、介護者にとっても重要なものです。「終活」という言葉がよくつかわれますが、物だけでなく生きかたにおいても大切だと感じました。（H/S）